オンデマンドバスの開発

こんな問題に取り組んでいます

地方の公共交通は、経営が苦しいためにコストを削減し、コストを削減すると利便性が低下し、使い勝手の悪さが乗客離れをおこしてさらに経営を圧迫するという悪循環になっています。オンデマンドバスという新しい交通システムでこの問題を解決します。

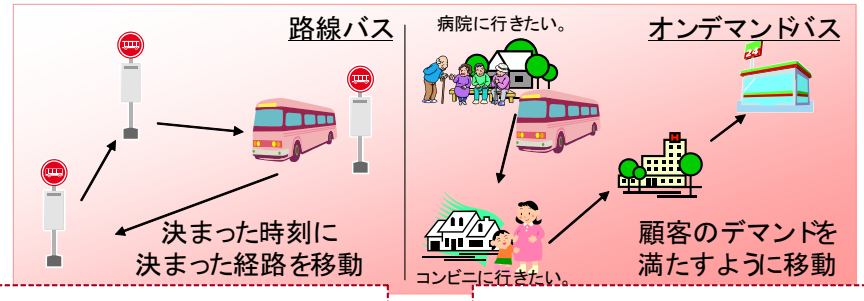
こんなことがわかってきました

オンデマンドバスは、予約に応じて自宅の前まで迎えに行き、不要な時はバスを運行しないで燃料を節約できます。現行の路線バスとうまく共存させることで、便利で地球環境に優しい新しい公共交通網を実現できます。

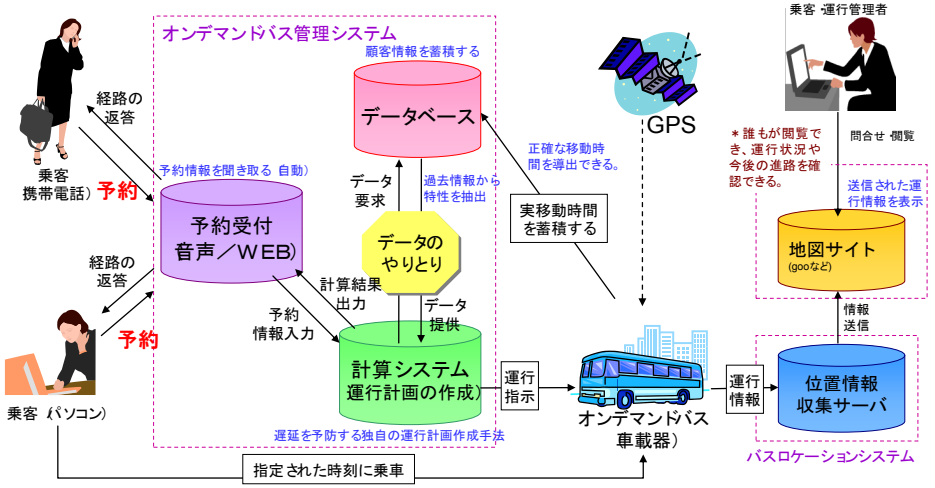
研究の成果はこんな分野に活かされます

昨年度柏市で行った実証実験では、延べ15,451名の方に乗車していただきました。今年度も柏市内で12月からの実証実験を行うほか、全国19箇所の自治体で実証実験を行う予定で、すでにオンデマンドバスが運行されている地域もあります。「誰にとっても使いやすいオンデマンドバス」をテーマに、これからもさらにオンデマンドバスシステムを進化させていきます。

関連展示：産業環境学研究室（269）
連絡先：　東京大学 大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻
大和　裕幸<yamato@k.u-tokyo.ac.jp>



・乗客がいなくても動かなければいけない。
・バス停まで歩かなければならない。

・乗客がいない場合にはバスは動かない。
・タクシーのように近くに迎えに来てくれる。

● 乗車時刻や降車時刻を指定でき、かつ約束した運行時刻を守って運行できるオンデマンドバスシステム。